

## 2026 年度入学試験問題

## 選 択

### (歴史総合、日本史探究、歴史総合、世界史探究、 公共、政治・経済、数学)

(60 分)

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. この問題冊子は 50 ページあります。試験中、ページの脱落等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。  
解答用紙(マークシート)の汚れなどに気づいた場合も、同様に知らせてください。
3. 解答用紙(マークシート)は折り曲げたり、汚したりしないでください。
4. 数学を解答するものは、解答上の注意が裏表紙に記載してあるので、この問題冊子を裏返して必ず読んでください。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
5. 解答は、すべて解答用紙(マークシート、数学とその他の科目は解答用紙が異なります)に記入し、解答用紙(マークシート)の枠外には、なにも書かないでください。
6. 下記の選択科目のうちから 1 科目を選択して解答してください。解答用紙にマークする際にも注意してください。(※数学とその他の科目は解答用紙が異なります)

選択科目	ページ	試験問題
歴史総合、日本史探究	1 ページ～13 ページ	問 1～問 35
歴史総合、世界史探究	14 ページ～25 ページ	問 1～問 35
公共、政治・経済	26 ページ～47 ページ	問 1～問 35
数学	48 ページ～50 ページ	ア～ネ

7. マークは必ず HB の黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、完全に消してからマークしてください。
8. 監督者の指示に従って、解答用紙(マークシート)に解答する科目、受験番号をマークするとともに、受験番号および氏名を記入してください。
9. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
10. 筆記用具以外は、使用しないでください。
11. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

# 歴史総合, 日本史探究

(60分)

## 注意事項

1. 試験問題は、問1～問35まであります。

解答用紙(マークシート)には、問題番号が1～50、選択肢が①～⑩まで印刷されていますが、解答にあたっては、問1～問35までの各設問に指示された選択肢の数の中から選んで解答してください。

2. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

## 問題 I

次の文章を読み、以下の問い(問1～問12)に答えよ。

中国では618年に隋が滅んで [ 1 ] が成立すると、 [ 1 ] は中央アジアの国を滅ぼし、高句麗攻撃を実行するなど東西に軍事的拡大を進めた。東アジア諸国はそれに対抗するために中央集権化を進めたが、その過程で政変も頻発した。倭(日本)でも高向玄理ら中国への留学生・僧侶が帰国し、中国の支配制度にならった国づくりの機運が高まるなかで、国内の対立も深刻化した。

倭では、大臣の蘇我蝦夷とその子入鹿が権勢をふるい、聖徳太子(厩戸王)の子の山背大兄王を滅ぼして権力を集中しようとしたが、王族中心の中央集権をめざす軽皇子や中大兄皇子、中臣鎌足は、蘇我父子を滅ぼした。これを乙巳の変<sup>(3)</sup>という。

乙巳の変によって皇極天皇が譲位し、軽皇子が即位した。新政権は新たに左右大臣を設置し、飛鳥から王宮を移して改革に取り組み、乙巳の変の翌年に改新の詔を出して中央集権国家への目標を定めた。

朝鮮半島では、 [ 1 ] が新羅と結んで660年に百済を滅ぼすと、百済の遺臣は日本に滞在していた百済王子の送還と援軍を要請した。皇極天皇の重祚である [ 7 ] は、百済復興を支援するため大軍を送ったが、663年の白村江の戦いで [ 1 ] ・新羅連合軍に大敗した。668年には、 [ 1 ] ・新羅連合軍は高句麗も滅ぼした。

倭では白村江の戦いの敗戦を受けて防衛政策が進められた。また、百済からの亡命貴族の指導下に、対馬から大和にかけて古代山城が築かれた。

中大兄皇子は667年に都を移し、翌年7年間の称制を経て天皇に即位した。近江令を定めたともいわれ、また670年には最初の全国的な戸籍である庚午年籍をつくるなど、内政の改革を急いだ。その後、この天皇が亡くなると後継争いが起こり、672年、この天皇の弟の大海人皇子は、東国や飛鳥地方の豪族を味方につけ、朝廷を率いるこの天皇の子の大友皇子を倒した。

戦いに勝って強大な権力を手にした大海人皇子は、都を飛鳥に戻して天武天皇として即位し、中央集権国家の形成を進めた。天武天皇が亡くなった後は、皇后が即位して持統天皇となつて事業を引き継ぎ、689年にある法令を完成させ、690年に庚寅年籍をつくった。

問1 空欄 [ 1 ] に入る国名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 宋                      ② 唐                      ③ 明                      ④ 清

問2 下線部(2)に関して、高向玄理らと共に渡海した僧侶として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 行基                      ② 鑑真                      ③ 道鏡                      ④ 旻

問 3 下線部(3)に関して、蘇我父子を滅ぼした年として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 625年                      ② 635年                      ③ 645年                      ④ 655年

問 4 下線部(4)に関して、即位した軽皇子の天皇としての名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 欽明天皇                  ② 崇峻天皇                  ③ 推古天皇                  ④ 孝徳天皇

問 5 下線部(5)に関して、このとき飛鳥から移転した王宮の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 紫香楽宮                  ② 恭仁京                      ③ 難波宮                      ④ 近江大津宮

問 6 下線部(6)に関して、改新の詔の内容として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 公地公民制を確立すること                      ② 貨幣を発行すること  
③ 班田収授法をつくること                      ④ 租税を一新すること

問 7 空欄 

7
---

 に入る天皇の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 齊明天皇                  ② 元明天皇                  ③ 孝謙天皇                  ④ 称徳天皇

問 8 下線部(8)に関して、この時の防衛政策と直接関係しないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 烽                              ② 防人                              ③ 歳役                              ④ 水城

問 9 下線部(9)に関して、古代山城として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 大野城                      ② 多賀城                      ③ 鬼ノ城                      ④ 基肆城

問10 下線部(10)に関して、このとき即位した天皇の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 天智天皇                  ② 聖武天皇                  ③ 淳仁天皇                  ④ 桓武天皇

問11 下線部(11)に関して、天武天皇が推進した政策として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 八色の姓を制定した
- ② 富本銭の鑄造を命じた
- ③ 歴史書の編纂に着手した
- ④ 藤原京に遷都した

問12 下線部(12)に関して、ここでいう「ある法令」として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 大宝律令
- ② 養老律令
- ③ 飛鳥浄御原令
- ④ 三世一身法

次ページ以降にも問題があります。

## 問題Ⅱ

次の文章を読み、以下の問い(問13～問23)に答えよ。

平安時代後期から鎌倉時代にかけて、日本の土地制度は劇的な変革を遂げた。9世紀以降、律令制の根幹であった班田収授法が形骸化する中で、各地で土地開発を主導する有力者たちが台頭し、彼らが開墾した土地を中央の権門勢家に寄進することで私的領域が拡大していった。

こうした状況に対し、後三条天皇は荘園の正当性を厳格に審査する政策を実施した。しかし、この政策も荘園拡大の根本的解決には至らず、むしろ院政期には上皇が大規模な荘園領主として君臨することとなった。一方で、荘園以外の土地については、特定の貴族が16からの収益を独占する仕組みも発達した。

平安時代後期には、大寺院の僧兵が神輿や神木を立てて朝廷に武力的圧力をかける行為が頻発し、政治的混乱が深刻化した。こうした中で武士階層が台頭し、鎌倉幕府成立により日本史上初の本格的武家政権が誕生した。

鎌倉時代に入ると、武士は守護・地頭として荘園・公領の管理に深く関与するようになった。特に1221年の政治的事件後は、武士の土地支配が西国にも拡大し、荘園経営のあり方も変化した。地頭は荘園領主との間で様々な取り決めを結び、時には荘園を二分して支配する解決策も採用された。

また、武士社会では家督相続制度が重要な意味を持ち、家の統率者が一族を統括した。しかし、生産や流通経済の発展と社会の変動の中で、鎌倉時代後期以降は相続制度にも変化が生じることとなった。

問13 下線部(13)に関して、土地開発の主導者について正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① すべて朝廷が直接派遣した官僚であった
- ② 開発領主と呼ばれる在地の有力者であった
- ③ 外国から招聘された技術者であった
- ④ 寺社の僧侶のみが担当していた

問14 下線部(14)に関して、後三条天皇が1069年に発令した荘園抑制政策の名称は何か、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 延久の荘園整理令
- ② 建武式目
- ③ 御成敗式目
- ④ 延喜の荘園整理令

問15 下線部(15)に関して、荘園以外の土地について正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 公領として国衙が統治を継続した
- ② すべて放棄されて無主の地となった
- ③ 武士が独占的に支配していた
- ④ 外国の法律で統治されていた

問16 空欄  に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 院分国                      ② 知行国                      ③ 平家没官領                      ④ 御料所

問17 下線部(17)に関して、大寺院の僧兵による武力的圧力行為を何というか、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 強訴                      ② 土一揆                      ③ 国一揆                      ④ 打ちこわし

問18 下線部(18)に関して、1221年の政治的イベントについて正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 平治の乱                      ② 保元の乱                      ③ 承久の乱                      ④ 応仁の乱

問19 下線部(19)に関連する制度の内容として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 荘園領主が、荘園の管理を地頭に任せて、一定の年貢納入を請け負わせた制度
- ② 地頭と荘園領主が、ともに国司に地方支配権を委任した制度
- ③ 地頭が、荘園領主に代わり、軍役奉仕を請け負った制度
- ④ 地頭と荘園領主が、ともに荘園内の高利貸しに土倉役や酒屋役を課した制度

問20 下線部(20)に関して、荘園を二分して支配する解決策を何というか、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 下地中分                      ② 均田制                      ③ 半済令                      ④ 段 銭

問21 下線部(21)に関して、武士社会における家の統率者の地位を何というか、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 惣領                      ② 執権                      ③ 内管領                      ④ 連署

問22 下線部(22)に関して、鎌倉時代の武士の相続制度について誤っているものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。

- ① 女子にも相続権があった
- ② 庶子も相続権を持つことがあった
- ③ 常に長男のみが単独相続していた
- ④ 分割相続により所領の細分化が進んだ

問23 鎌倉時代の土地制度について正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 荘園制が完全に廃止された
- ② 武士による土地支配の関与が強まった
- ③ すべての土地が国有化された
- ④ 律令制が完全に復活した

次ページ以降にも問題があります。

### 問題Ⅲ

次の年表を読み、以下の問い(問 24～問 35)に答えよ。

西暦(年号)	その年の主な出来事の内閣(出身・与党など)	その年の主な出来事
1912年 (大正元年)	桂太郎 (長州)	<sup>(24)</sup> 第一次護憲運動→総辞職
1913年 (大正2年)	山本権兵衛 (薩摩・ <input type="text" value="25"/> )	<input type="text" value="26"/>
1914年 (大正3年)	<sup>(27)</sup> 大隈重信 (立憲同志会)	第一次世界大戦(～1918) →袁世凱政権へ <input type="text" value="28"/> (1915)
1918年 (大正7年)	寺内正毅 (長州・陸軍)	<sup>(29)</sup> シベリア出兵→ <input type="text" value="30"/> →総辞職
1918年 (大正7年)	原 敬 ( <input type="text" value="25"/> )	<input type="text" value="31"/> を公布 …公立・私立大学の設立を許可
1919年 (大正8年)		ヴェルサイユ条約調印
1920年 (大正9年)		<sup>(32)</sup> 国際連盟に加入
1921年 (大正10年)	高橋是清 ( <input type="text" value="25"/> )	<sup>(33)</sup> ワシントン会議
1922年 (大正11年)	加藤友三郎 (海軍)	非合法ながら日本共産党が結成される
1923年 (大正12年)	山本権兵衛 (薩摩・ <input type="text" value="25"/> )	<input type="text" value="34"/>
1924年 (大正13年)	清浦奎吾 (貴族院)	<sup>(35)</sup> 護憲三派による第二次護憲運動 →総選挙で護憲三派が勝利し総辞職
1925年 (大正14年)	加藤高明 (憲政会)	普通選挙法, 治安維持法公布

問24 下線部(24)に関する説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 幸徳秋水らが死刑宣告を受けたことに対して、国民が反発した運動である。
- ② 日露戦争の講和内容に不満を爆発させた国民が暴動を起こした運動である。
- ③ 政党の活動を制限した集会条例や、民権派のジャーナリストらを東京から追放した保安条例を定めた政府に対して、武力による直接行動を行った国民運動である。
- ④ 元老会議によって就任した首相に対して、憲法にもとづく政治を擁護し藩閥政治を打破しようとした国民運動である。

問25 空欄  に入る政党名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 立憲政友会
- ② 立憲帝政党
- ③ 愛国公党
- ④ 自由党

問26 空欄  に入る出来事の説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 反政府的な政治運動を抑制することを目的とし、警察権を強化した治安警察法を制定して労働運動を取り締まった。
- ② 金の輸出を再禁止することで、円の金兌換を停止して金本位制から離脱し、事実上の管理通貨制度へ移行した。
- ③ 旧幕府が欧米諸国と結んだ不平等条約の満期に伴い新条約が締結され、関税自主権が回復した。
- ④ 軍部大臣現役武官制を改正し、現役規定を削除して予備役の大將・中將でも陸軍大臣・海軍大臣になれるよう資格を広げた。

問27 下線部(27)に関する説明として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 外相として不平等条約の改正に取り組み、領事裁判権を撤廃した。
- ② 開拓使官有物払下げ事件を契機に、政府を追放された。
- ③ 自身を首相、板垣退助を内務大臣とする日本初の政党内閣を誕生させた。
- ④ イギリス流の立憲主義を主張した政党である立憲改進黨を結成した。

問28 空欄  に入る語句の内容として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 中国政府への日本人の軍事顧問や警察官の雇用
- ② 南満州の鉄道経営権の中国政府への返還
- ③ 山東省のドイツ権益を日本が継承
- ④ 旅順や大連の租借権の99年間延長



問34 空欄 

34
----

 に入る出来事として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 西安事件      ② 虎の門事件      ③ 大逆事件      ④ 柳条湖事件

問35 下線部(35)に該当する政党の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 憲政会・民進党・立憲同志会      ② 憲政会・立憲政友会・革新倶楽部  
③ 憲政会・立憲政友会・民進党      ④ 憲政会・立憲同志会・革新倶楽部